

上松小学校 4 年生が自分たちの赤かぶですんきづくりに挑戦しました

開催日 8月29日（伝統野菜についての授業）、9月15日（赤かぶ播種）、
11月22日（赤かぶ収穫）、12月2日（すんきづくり）

場 所 上松小学校

内 容

上松小学校 4 年生が自分たちで育てた赤かぶを使ってすんきを作りました。

上松町の元地域おこし協力隊の方に声をかけていただき、支援センターも栽培やすんきづくりの支援を行いました。

8月に伝統野菜とはどんなものかについて授業で学んだあと、9月に上松町の伝統野菜である「吉野蕪」と「芦島蕪」の種をまきました。その後、11月に育った蕪を収穫して12月にすんきづくりに挑戦しました。

播種と収穫では吉野蕪、芦島蕪それぞれの生産者の方に来ていただき種のまき方や収穫の仕方を教えてもらいました。一人ひとり2種類の蕪をまき、自分のまいたところに名札を刺して大きくなるまで育てました。収穫では大きな蕪がたくさん収穫でき、みんな喜んでいました。

すんきづくりでは上松町特産品開発センターの方に作り方を教わり、2種類の蕪ですんきを作りました。蕪を切って湯がいてすんきの種と混ぜて…を班ごとに行い、発泡スチロール4つ分のすんきができました。できたすんきは12月8日に行われるすんき品評会に出品されました。品評会の結果はどうだったのでしょうか？

